広　告
企画・制作=日本経済新聞社
Nブランドスタジオ

私たちのつくる未来

必要とされる薬を確実に届け、この国のライフラインを支えてきた医薬品卸売業大手のメディパルホールディングス。
次の5年に向けた経営計画「2027メディパル中期ビジョン」を発表した渡辺秀一社長が、同社の使命と革新について語った。

株式会社 メディパルホールディングス
代表取締役社長
渡辺 秀一氏

当たり前のライフライン「人と人」で支える

――医薬品卸の役割とは何でしょう。

「この国で、薬を届けるという使命。」――私たちが発信するこのメッセージには、事業を継続する強い思いが込められています。平時有事を問わず、薬を必要とするところへお届けする。私たちの一番の役割はここです。もう一つ意識しているのは「どんな薬も、届かなければ意味がない。」ということです。

コロナ禍でリモートワークが普及しました。しかしヘルスケアの基本は「人と人」であり、リアルなものです。薬が医師や薬剤師のお手元になければ的確な治療ができません。

その意味からも、私たちはエッセンシャルワーカーの一員であると自負しています。

――ライフラインを支えるために必要なことは何でしょう。

変革し続けるための積極的な投資と主体性を持った行動力です。

例えば医療用医薬品などを取り扱う高機能物流センターのALC（エリア・ロジスティクス・センター）。ここには免震構造、自家発電装置、緊急配送用バイク、自家給油設備などさまざまな備えがあります。そのため東日本大震災をはじめとした多くの有事にも、物流を途切れさせませんでした。

また、再生医療分野の医薬品流通のために開発した超低温下での輸送システムは、新型コロナウイルス感染症ワクチンの配送で大いに活躍しました。

先を見据えた準備は過剰だといわれたりしますが、大事なものは目に見えず、必要になって初めて気づいたりするものです。「薬が届く」という「当たり前」の背景にも思いを馳（は）せていただければと思います。

アグロ・フーズなど5分野で成長目指す

――社会環境も変化していきます。次の社会をどのように支えますか。

社会保障を持続可能にするには、医療費を抑えていかなければなりません。そのためには、健やかな日常を送ることが今まで以上に求められるようになると思います。

混沌とする時代にあって、国民は生活に潤いや癒やしを求めています。年を重ねても美容に気を配ったり、ペットとの暮らしを楽しんだりする人々も増えるでしょう。そうした生き生きとした暮らしが病気を遠ざけ、安易に医療に頼ることを減らすのではと思います。

このような社会を思い描き、「医療と健康、美」を広げ、支え、つなぐ健康応援オーケストラ」という当社のありたい姿を掲げました。そして、そこからバックキャストする形で「2027メディパル中期ビジョン Change the 卸 Forever ～たゆまぬ変革を～」を策定しました。

――具体的にはどんな姿を指すのでしょうか。

従来の枠組みにとらわれず、新たな価値創造に挑戦していきます。

まずは**「海外への進出」**です。高度な流通ノウハウを生かし、パートナー企業との連携により一画期的な希少疾病用医薬品などのグローバルビジネスに挑戦します。

2つ目は**「予防・未病・アグロ・フーズ領域の事業拡大」**です。病気を未然に防ぐために最先端の検査機器・試薬などの取り扱いを拡大します。またペット関連商品や、食品加工原材料などの事業を強化します。

3つ目は**「デジタルを活用したビジネス基盤の強化」**です。人々の健康増進や医療の効率化に向けて、ヘルスケアのデジタルプラットフォームの構築と収益化を進めます。

4つ目は**「持続可能な流通の構築」**です。昨年立ち上げた物流合弁会社の機能を生かして、温暖化ガス排出量削減や生産性向上、働き方改革を進めるとともに、品質情報の一元化によるトレーサビリティーの完全化を目指します。

最後は**「地域医療における価値共創」**です。私たちがコーディネーターとしての役割を担い、さまざまな地域の医療機関、自治体などが抱えるヘルスケア課題への解決策を提案していきます。

これら5つの成長戦略を通じてESG（環境・社会・ガバナンス）課題の解決を図っていきます。「未来へつなごう一元気と、かがやき」というサステナビリティー方針のもと、温暖化ガス排出量削減・女性活躍推進・ガバナンス強化について明確な目標を掲げ、主体的に変革を進めていきます。

ヘルスリテラシー向上 活躍できる社会を

――誰もが心身ともに健やかな、生き生きとした社会姿とはどのようなものですか。

誰一人取り残されることなく活躍できる姿です。

生き生きとした社会の実現のためには、国民一人ひとりが、ヘルスリテラシーを高め、セルフメディケーションなどにより、自分の健康を自分で守れるように、意識と行動を変えていくことが必要です。それによりこの国の強靭（きょうじん）性を高めることができるのではないでしょうか。

――将来のメディパルグループの姿をどのように描いていますか。

ありたい姿の中で「健康応援オーケストラ」と表現しました。オーケストラは多彩な楽器、さまざまな個性が集い、それぞれの音色が重なることで人々の心に届く楽曲を創り上げます。メディパルの強みは人材です。「医療と健康、美」の事業フィールドにおいて、多彩な従業員のハーモニーで新たな価値を創造し、人々の健康と社会の発展に貢献できれば、これほど幸せなことはありません。

健康応援オーケストラ

メディパルグループ

「医療と健康、美」の事業フィールドで、
誰もが心身ともに健やかな社会の実現を目指しています。

メディパルグループ

株式会社メディパルホールディングス

■ 医療用医薬品等卸売事業

- 株式会社メディセオ
- 株式会社エバルス
- 株式会社アトル
- SPLine株式会社
- 株式会社MMコーポレーション
- 株式会社アステック
- 株式会社MVC
- 株式会社ファルフィールド
- メディエ株式会社
- 株式会社エム・アイ・シー
- 株式会社メディパル保険サービス
- 株式会社メディスケット
- 株式会社よんやく※
- 中澤氏家薬業株式会社※
- 東七株式会社※

※資本・業務提携会社

■ 化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

- 株式会社PALTAC

■ 動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業

- MPアグロ株式会社
- メディパルフーズ株式会社

メディパルのロゴマークについて

手をつなぐ人々と、調和をイメージしたデザインで、「協調・共生」と「生きるための力強さ」を表現するとともに、お得意様やお取引先と手を携えて成長する企業、多様な方向へ発展していく企業、人間尊重の姿勢を持った企業であることを表現しています。

https://www.medipal.co.jp/

詳細は日経電子版広告特集で　https://ps.nikkei.com/medipal2302/vol1.html